

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	CD5 陽性 DLBCL の新規バイオマーカーの同定
	研究目的	この研究では、十分に有効な治療法が確立されていない悪性度の高いリンパ腫 (CD5 陽性びまん性大細胞性 B 細胞リンパ腫) について、その悪性の性質の原因解明と、その情報を基にした治療法の開発を目指します。具体的には、2008 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日までの間に、リンパ腫と診断された病理組織標本の残りを利用して、どのようなタンパク質がこれらのリンパ腫の細胞で作られていて、悪性の性質に係わっている可能性があるのかを、京都大学、東京大学医科学研究所と共同で解析します。
	研究期間	西暦 2018 年 1 月 25 日～西暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	臨床研究所・宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	臨床研究所、病理診断科、腫瘍内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	京都大学研究科創薬医学講座・特定教授 鶴山竜昭 東京大学医科学研究所・特任教授 / 滋賀医科大学・教授 醍醐弥太郎